

令和6年度 第2回佐賀市地域公共交通協議会 議事要旨

開催日	令和6年7月18日(木) 15:00～16:00	
出席者	委員	鈴木会長、牟田委員(代理:千種様)、草野委員 松崎委員(代理:大崎様)、大串委員、下川委員 岩松委員、松本委員、江口委員(代理:馬場様) 北島委員(代理:中島様)、石上委員(代理:三浦様) 坂井委員、犬尾委員、有森委員、中尾委員
	事務局	稲又都市戦略部長、溝口交通政策課長、白濱企画政策課 長、内川交通政策係長、北村交通政策課主査、野田交通 政策課主事、山口交通政策課主事
欠席者	五十嵐副会長、大鶴委員、山本委員、牛島委員、小城原委員 古賀委員、野口委員	
報告	・令和6年度サンライズストリート自動運転バス運行実証事業について て ・西鉄江見線について	
議事	・令和6年度収支補正予算(案)について ・地域公共交通利便増進実施計画について【非公開】	
傍聴者(公開)	なし	
報道機関	なし	

【報告1：令和6年度サンライズストリート自動運転バス運行実証事業について】

事務局から説明(割愛)

○委員

実証運行のルートは既存バス停にも停車するという計画であると説明されたが、ルートを見ると、昭和自動車の路線、バス停と同じルートとなると思う。全てのバス停に停車する計画なのか。

また、昭和自動車とは調整済みという理解でよろしいか。

●事務局

この区間のバス停は、昭和自動車、西鉄バス、佐賀市交通局の三者が使用している。それぞれの事業者と話を進めている。

バス停の停車については、自動運転バスの事業者と調整を図っている。テスト走行において、基本的に全てのバス停に停車ということをやりたい。常時、既存バス停に停車する運用にするか、試験的に一部バス停に停車する運用にするかは、現在調整している。

なお、バス停利用には県警で手続等する必要がある、そちらも現在調整している。

○委員

途中のバス停からも乗車できる計画という理解でよろしいか。

●事務局

テスト走行は、基本的に一般の利用客を乗せる予定はない。

中間のバス停利用は、実運用に近い状態でテストしたいと思っているが、実際に一般の利用客が乗車する国スポ全障スポの期間は、中間のバス停には停まらず、佐賀駅バスセンターから SAGA サンライズパーク前のバス停まで、シャトルバスのように運行したい。

○委員

国スポ全障スポ期間の運行において、例えば夜間や悪天候の走行など、将来を見据えて通常と異なる環境のテスト走行を予定しているか。

●事務局

今年度は夜間走行を予定していない。昨年の実証時には、1日だけ夜間走行をテストした。

悪天候時については、昨年度、実証事業者と随分話をした。非常に雨が強い、通常の路線バスが運行できないような状態であれば、自動運転バスの走行を中止するが、それなりの雨であれば、自動運転バスの運行に支障はないという運用にしている。

基本的に路線バスの運行に近い、それにあわせるような形の運行を考えている。

○委員

交通事故に遭った場合、起こした場合は、どのような対応を考えているか。

●事務局

ドライバーは常時乗車しており、事案の状況に応じて対応することになる。

様々なリスクが想定されるので、連絡体制や対処方法はある程度想定して、運行計画の中に織り込む予定としている。

○委員

自動運転でも、ドライバーが運転手という認識でよろしいか。

●事務局

自動運転レベル2は、ドライバーが主、システム側が運転を支援するという概念になり、運行の主体はドライバーという整理になる。レベル4相当の走行を予定している一部区間ではシステム側が主に近い状態となるが、事故が発生する危険がある場合はドライバーが即座に介入をするので、全体を通して見るとレベル2と言う整理の中で、ドライバーの責任を持って運行することになる。

報告終了

【報告2：西鉄江見線について】

事務局から説明（割愛）

質疑なし

報告終了

【議事1：令和6年度収支補正予算（案）について】

事務局から説明（割愛）

質疑なし

議事1について同意

【議事2：佐賀市地域公共交通利便増進実施計画策定について】※非公開

事務局から説明（割愛）

質疑なし

議事2について同意

閉会